

安全・安心に資する科学技術の推進

平成19年度概算要求額 : 19,012百万円
(平成18年度予算額) : 15,440百万円
※運営費交付金中の推計額を含む

第3期科学技術基本計画を踏まえた基本的な考え方

- 「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」の実現
- 経済的価値のみならず安全・安心な社会の構築への貢献など社会的価値の創出を目指し、研究開発の成果を通じたイノベーションを実現

安全・安心科学技術プロジェクト

平成19年度概算要求額 : 893百万円

安全・安心科学技術総合推進機能（新規）

- 情報収集・分析 : 国内外における安全・安心に関する情報収集を行い、リスク動向、危機事態に対処する公的機関等のニーズ情報、研究開発側の科学技術シーズ等を把握し、取り組むべき優先的な研究開発課題の具体化等を行う。
 - 情報発信・政策提言 : 情報収集、分析の成果を踏まえて、公的機関等に対して情報発信・政策提言を行う。
 - ニーズとシーズのマッチング : 危機事態に対処する公的機関等が抱える技術的課題の解決に向け、研究開発課題の具体化を行うとともに、ニーズとシーズを結びつけ、効果的・効率的な研究開発を実現する。

安全・安心科学技術の研究開発（新規）

- 安全・安心科学技術国際イニシアティブ共同研究の推進
: 国際的に合意された安全・安心に資する科学技術・研究開発を推進する。
(例) 日米安全・安心科学技術協カイニシアティブ
日仏、日英の安全・安心科学技術に関する協力 等

危機事態別・分野別の研究開発の推進

総合科学技術会議「安全に資する科学技術推進戦略」等を踏まえた、危機事態別・分野別の研究開発の推進

- 例) ・首都直下地震防災・減災特別プロジェクト、地震等の調査観測研究 (8092百万円)
- ・新興・再興感染症研究拠点形成プログラム (3000百万円)
- ・その他、競争的資金制度による研究開発の推進

※総合科学技術会議「安全に資する科学技術推進戦略」で対象としている7つの危機事態 : 大規模自然災害、重大事故、新興・再興感染症、食品安全問題、情報セキュリティ、テロリズム、各種犯罪